

「つくる(作る・造る・創る)仕事体験オリエンテーション」を実施しました

11月25日(金)の総合的な学習の時間に実施した「つくる(作る・造る・創る)仕事体験オリエンテーション」にて、キャリアナビゲーターから、「つくる仕事体験で学んでほしいこと」を話しました。

つくる(作る・造る・創る)仕事体験

1月20日(金)に12社・職種の様々な「つくる」にまつわる仕事をする方をお招きし、その中から、生徒の皆さんが希望した1つの会社・職種の方のお話を聞いたり、仕事の一部を体験したりする予定です。

なぜ「つくる」仕事？

愛知県は、皆さんご存知のとおり、ものづくり産業が盛んな地域であり、またこの地域も「有松・鳴海絞」といった伝統的なものづくりが有名な地域です。しかし、ものづくりを取り巻く環境は、大きく変化をしています。かつては…

より良いものを、より安く！



つくることで競争してきましたが、ものがあふれる時代になり、また、海外でも「安くて良いもの」がたくさんつくられるようになったことから、

「良いもの」「安い」以外の魅力をつくらないと生き残れない・・・



と考える会社が増えました。

では、どうすればよいか？それは、「モノづくり」以外の2つの“つくる”がポイントになると言われています。それが、「コトづくり」や「バづくり」です。

(例)

“モノ”づくり

品質がよいモノをつくる



“コト”づくり

モノとしての機能に加えて、使う人が「いいな！」と感じる価値や体験をつくる



走った時間や距離、消費カロリーなどが分かる！

“バ”づくり

モノの魅力を発信したり、モノを通して交流する“場”をつくる



イベント実施やSNS等での交流機会をつくる！

“コト”や“バ”も重要なこれからの時代は、つくった“モノ”を
「どう使ってもらおうか?」「どう楽しんでもらおうか?」
つまり、「つくったその先まで考える」ことがとても重要
となります。そこに、つくる人(働く人)たちの、

想い

やりがい

信念

などがたくさん詰まっています。「様々なつくる仕事やそれに
携わる働く人の考えや想いに触れることで、社会の変化と
仕事の変化のつながりを知り、さらに自分の将来について
考えてもらいたい。」そんな想いで、今回は、“つくる”仕事に
注目して、たくさんの方に講話・体験学習をお願いしました。

この経験を通して、生徒皆さんが、

自分もこの人みたいにこんな気持ちで働きたい!



仕事体験したら、自分はこれが好き・得意って
気付けた!



お話を聞いたり、仕事体験をしたりしたけど、まだ
将来のことは決めきれない・・・でも見つけれられるよ
うに考えたい!



と、少しでも前向きに「将来のこと」「働くこと」を考え続けられるようになれば嬉しいです。
また、これからの学校生活で、将来に向けてどんなことに力を入れたらよいか?を考える
きっかけになりますと幸いです。

生徒の感想

つくる仕事と考えた時2~3個しか思っ浮かばなかったけど、こんなにたくさんの
種類があるという事に驚いた。職業体験をすることで自分自身のさまざまな
可能性が広がるいいなと思った。

わたなべさんの話を聞いて、将来について少し考えたくなった。

今回お招きする方と体験内容の一覧は、右の二次元
バーコードからも見るができます。(カラー版)

ぜひ、当日実のある時間にするためにも、これからの
事前学習も真剣に取り組んでいきましょう!

<当日の体験一覧>



キャリアナビの
ひとこと



<授業で使用したスライド資料>

ところで...

「つくる」仕事...って何?

質問

世の中には、
「何をつくる」、どんな「仕事」がある?
例) 家をつくる、大工・建築士など

質問

**「良い“モノ”」さえつければ、
売れる?**

何をつくっているか?だけでなく、
つくったもので
お客さんに**何を届けているか?**